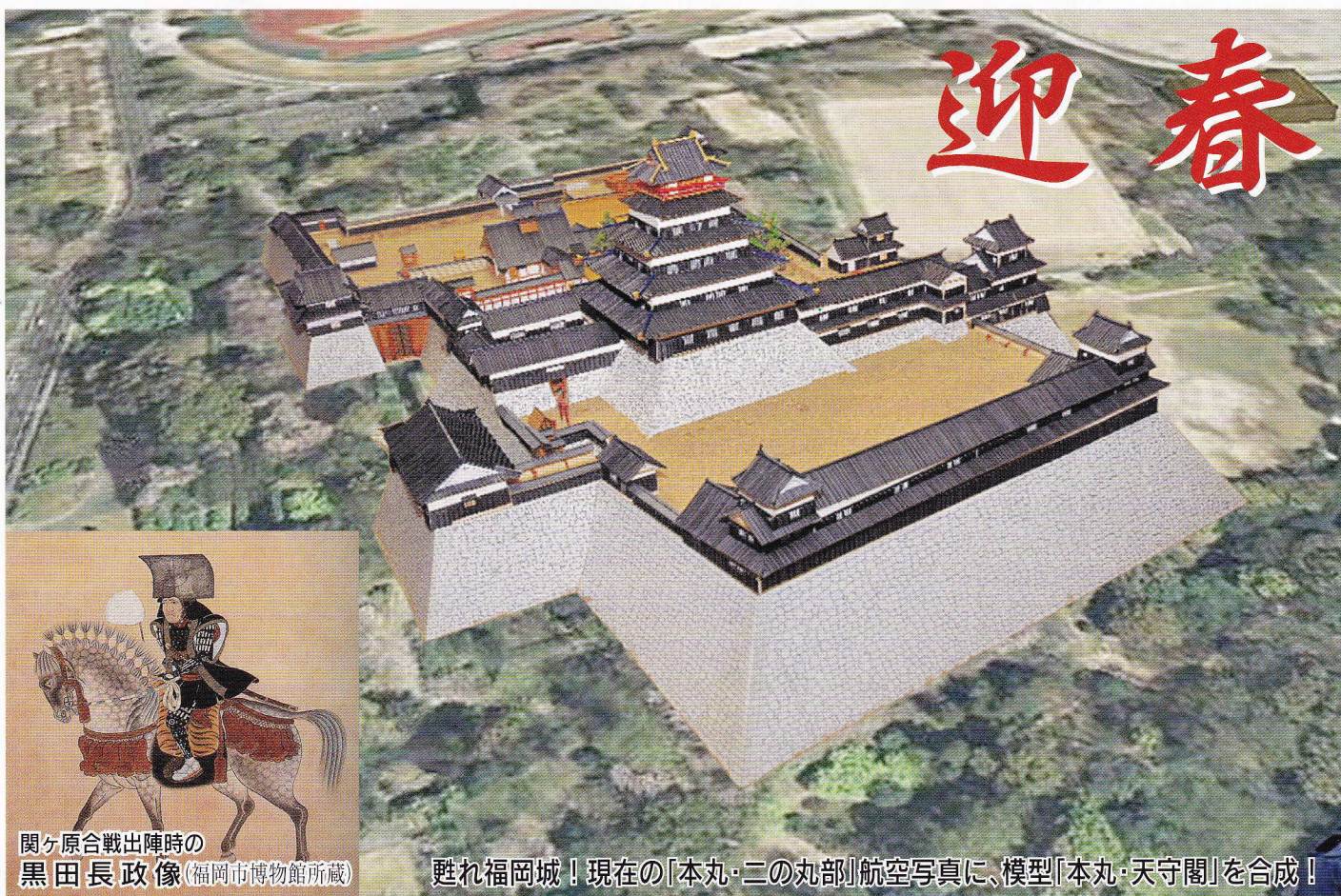


— 城のある都市復活!! —

福岡城たより

2011年1月
NO.28

迎春



関ヶ原合戦出陣時の
黒田長政像(福岡市博物館所蔵)

甦れ福岡城！現在の「本丸・二の丸部」航空写真に、模型「本丸・天守閣」を合成！

模型制作：筑前城郭研究会・小田原早嗣氏

写真提供：パナソニック松九会・福永攻治氏

大濠公園を見晴らしたい

NHK 福岡放送局

局長 遠藤 正雄



みなさんご存じのようにNHK福岡放送局は、市民の憩いの場大濠公園のすぐ南側にあります。天神から移転して18年、大変恵まれた環境の中で仕事をさせていただいてきました。夏の花火大会、一周2kmのジョギングコース、子供連れでも楽しい美術館……。水と緑の大濠公園の人気は年々高まっています。

周辺のマンションも随分増えました。その多くは池に向かって建ち、宣伝には公園ビュー、すなわち眺望の良さが謳われます。ただこの景色を楽しめるのはマンションの住人だけ。私たちみんなではありません。それならNHKが屋上を解放すれば、いい展望台になるのではないかと当然のご要望だと思います。

しかし残念ながらNHKにはヘリポートが設置されています。ヘリは普段は福岡空港にあって、そこから現場に飛んでいきますが、屋上にも万が一の緊急事態のためにヘリポートを整備しているのです。そこには手すりがありません。安全上の問題で一般の方にはお入りいただけません。

それならばどうするか？ここからが本題。昔の福岡城に思いを馳せてください。そこに天守があつたとすれば、その最上層からの眺めはどうだったでしょうか。北に城下町、東に博多の町、南には油山。そして西には、後に整備されて大濠公園となる「大堀」が広がっていたはずです。沈む夕陽が水面に映えて、さぞ壮観だったことでしょう。鳥のさえずりが風に乘って聞こえてきたかも知れません。

「もう一度ここからの風景が見たい。」

そう、平成の今の世にあつても大濠公園を見晴らすには、やはり福岡城から以外にはないと思うのです。2011年正月。私の初夢です。



10月2日に官民共働勉強会にかかわる市民フォーラムが「福岡城が今のままでは勿体ない。文化・観光都市で、景気浮揚と健やかな子供教育。知らないでは済まされない、福岡城の価値を徹底討論」の主旨で開催されました。その際の参加者のコメントを集計しました。

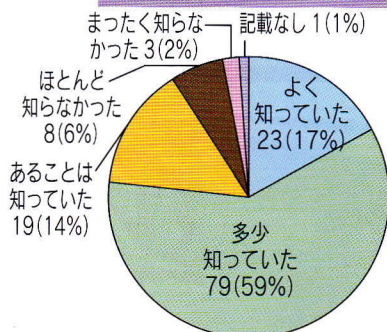
有効回答数

133人

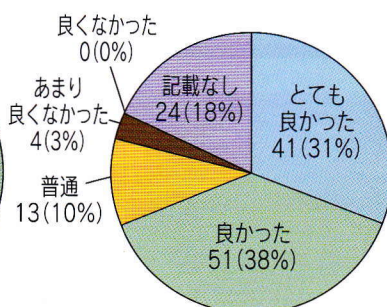
(内)コメント記載あり
97人(72.9%)

(内)コメント記載なし
36人(27.1%)

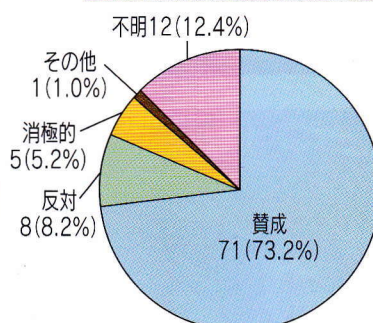
今まで「福岡城」についてどの程度ご存じでしたか



「市民フォーラム」に参加されていかがでしたか



福岡城復元の賛否



(133人中コメント記載97人の内訳)

【復元賛成】抜粋コメント

- ・親戚、友人が来福しても観光に連れて行く所がない。私共は、外国に行っても国内に行っても、お城があれば必ず見に行きたくなる。是非生きている間に実現したい。
- ・天守閣を早く建立すること。城の石垣がほとんど残っていて天守閣がないのは寂しい。
- ・日本の各有名都市には、全て、シンボル、観光名所として城は再建されており、福岡市も一日も早く再建が望まれる。学者の研究道具、遊び装具にして欲しくない。
- ・できるだけ元に戻す事、急ぐ事、スピード度。
- ・甕の福岡城を大いに期待しています。少しずつステップアップしていけばよいと思います。
- ・幾10年後、資料を探し出し、天守閣を実現してもらいたい。今基礎があることは、設計図のもとに建築を始めていたことは間違いない。
- ・上の橋の楼門の復活が望まれる。石垣の切れ目を繋ぎたい。以上熊本城に近づきたい。
- ・周りの整備をちょこちょこすることよりも一挙に天守を造って、それから周りを整備する方が、市民が元気になるし、寄付も集まると思います。僕も喜んで寄付をしますよ。

【復元反対】抜粋コメント

- ・自分の故郷に全国に誇れる城があったと知り大変誇らしく思いました。ただ、今から復元した城にどの程度の価値があるのかという点で少し疑問が残ります。なにかしら別の方法を、例えば、資料館を作り、そこで、CG等で再現する方がより現実的な気がしました。
- ・貴重な場を設けられたメンバーの皆様には敬意を表しますが、福岡城の復元、保存が目的化している印象。非常にフワフワした趣味の世界といった感覚を受けました。多額の資金を必要とする事業としての定義や必然性を具体化し、事業計画化が必要。又、福岡全体、九州全体のブランディングと観光のビジネスモデル化も重要。貴重な緑地公園をつぶして城を造るのはecoに逆行するとも言える。
- ①福岡城：秀吉が播磨国の黒田に作らせた侵略のシンボル。
- ②鴻臚館：太宰府の出先で、国際的な海外との窓口。地域のランドマークとして②がふさわしいと思う。自由都市福岡に封建的な天守閣はいらない。これまでなかった天守閣を何のために作る必要があるのか？福岡城は福岡のシンボルとして相応しいものではない。

【PR・啓蒙に関する主な意見】抜粋コメント

- ・官民共働の取組み、会議の中に出てきた案を、一つでも具体的に早く実施して、人々にしらしめることが大事である。
- ・小さい事からでも具体的に行動しないと、講演会、フォーラムのみでは参加する人が限られて、波及効果が少ないと思う。

【基金・募金に関する主な意見】抜粋コメント

- ・福岡出身の多くの著名なタレントに協力を求め、イベントを複数回行えば、多くに資金が集められる。(数年前福岡城講演会で提案したが実施されてない)
- ・福岡市の収入を増やすために福岡市街化調整区域の一部を市街化区域に変更したら良いと思う。(特に西区)

【行政への要望等に関する主な意見】抜粋コメント

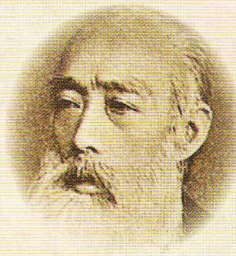
- ・市長選各候補に、本取り組み（福岡城）についてのスタンスを聞いてみるべきではないか？
- ・先ず、福岡市（教委）の役割に期待したい。”金無くば、知恵を出してよ福岡市” 熊本、金沢に続こう。県の役割は？

福岡城探訪

最後の藩主

十一代黒田長溥(二)

藤 金之助



十一代
黒田 長溥
(福岡市博物館所蔵)

黒田長溥は薩摩藩主、島津重豪の九男として文化八年(一八一一年)三月一日、薩摩藩江戸屋敷で生れ、幼名を桃次郎と言った。

父の重豪はこの時六七歳で隠居をしていたが、二女の茂姫が十一代將軍、家斉の正室であつたから將軍の岳父として政界に隠然たる勢力を持っていた。

老年になつても若々しく、酒豪でもあつた重豪がたまたま祝いごとで訪れた孫娘の婿、大久保加賀守の屋敷で酒の相手をした女性、身の丈抜群、泰然たる風格で人柄も快活、頭も良かったのですっかり気に入り側室にした。

その女性、千佐女は重豪が望んだ通り大きくて元気な男の子を生んだ。それが後の黒田長溥である。

重豪の曾孫に島津斉彬(後の薩摩藩主)が居て、長溥とは兄弟のように一緒に育てられるが、二歳年下の長溥が

斉彬の大叔父ということになる。

さて、福岡藩十代藩主、斉清には後継者が無く、二十代の頃から眼病がますます悪化していたので藩としては内々養子の人選を進めていたが、それには健康で頭脳明晰であることが何より大事であると白羽の矢をたてたのが島津家の桃次郎であつた。

その頃の桃次郎は十二歳ながら身体強健、すでに大器の風貌を備えていたので福岡藩は勿論、斉清も大いに気に入り、早速島津家に当ると、五十二萬石の大藩でもあるし、重豪も快諾した。文政五年(一八二二年)桃次郎は斉清の養子となり、名を長溥と改め、高輪の薩摩屋敷から霞ヶ関の福岡藩邸に移った。

藩では、できるだけ早く長崎警備の御番をつとめてもらいたいというので、長溥は文政十年、十七歳の秋、初めて福岡に入るとすぐ翌年、斉清とともに長崎警備に赴いた。

斉清が旧知のシーボルトと会った時、長溥も同席しているが、実は重豪もシーボルトとは親交があつて、会話の途中、オランダ語を使うのでシーボルトが驚いたという。実父の重豪、養父の斉清のこうした

影響をうけて、長溥はヨーロッパの文明に対する関心を深めてゆくことになる。

天保五年(一八三四年)十一月、長溥は藩主の座につく。二十四歳である。その直後、天保の藩政改革の大失敗という不運に見舞われる。勿論これは長溥の発案ではなく、家老の久野外記らが、藩の財政立て直しのため、早良郡の眼科医、白水養禎の案を採用し、積極政策を強引に進めたものである。

大量の藩札を発行し、博多の中洲に北の新天地を作りここに料亭、遊女屋、芝居小屋を建て歓楽街とし、大いに金を使わせようという計画である。江戸の千両役者七代目、団十郎などを呼び大盛況となり、地方からも続々人が集り、一時は相当の金が落ちたが藩内の風紀は乱れ華美浪費の悪習が広がり、藩札の価値は急落、物価は上昇するという散々な結果でこの改革は二年ほどでつぶれてしまった。

責任者はそれぞれ処罰されたが、長溥はこの失敗に衝撃をうけ、以後、重臣まかせの藩政をやめ、藩主親政の決意を固める。

開明君主といわれた長溥は医学にも力を入れたので他藩に見られない蘭方医学の研究が進み、天保十二年、福岡で最初の人体解剖が行われている。シーボルトの門人で武谷玄立、百武万里の手によつて大浜の刑部で行われた。

長溥は藩内の殖産にも熱心で、石炭の開発や、その効能のPRにもつとめている。

有能の藩士を選んで長崎に出し、西洋の学問技術を学ばせ、身分、出自を問わず登用した。

市民大学第三期生誕生

第3回福岡歴史・観光市民大学は6月28日に開講式を実施し、最終日11月22日・29日は博多独楽継承者・筑紫珠楽さんの講義と実演で盛会裡に終了しました。
11月29日に終講式が行われ、受講者の70%に修了証書が渡されました。



旧黒田藩領をめぐる歴史探訪(講師同行)

「黒田如水・長政親子」の九州戦跡を訪ねる

黒田如水は、天正15年(1587年)豊臣秀吉の九州征討に「強い軍師」として参戦し、豊前・豊後・日向口で戦功をあげ、中津城を築きました。

慶長5年(1600年)関ヶ原の戦いの後、大功をおさめた黒田長政が筑前の大守となって7年の歳月をかけて広大な城を築き、福岡城と名付けました。

以来ふると「福岡」が生まれ、400年後の現在「福岡県」「福岡市」として、九州の中心都市として発展を続けています。

毎年ご好評の「黒田親子」の戦跡を訪ねるバスツアーに、本年は「豊後・日向口」及び「文禄・慶長の役」時の戦跡も加え、内容も充実してまいります。

福岡城市民の会・会員の方は勿論のこと、友人知人の方々にもお誘いの上、お気軽にご参加いただきますようご案内申し上げます。

福岡城市民の会 事務局長 岡部定一郎

第1回	平成23年3月25日(金) ～26日(日)	秀吉の九州征討「豊後・日向口」を訪ねる 1泊2日(泊:宮崎プラザホテル・温泉かぐらまつり)
第2回	〃 4月16日(土)	黒田家、九州最初の拠点豊前中津城を訪ねる
第3回	〃 5月21日(土)	「文禄・慶長の役」肥前名護屋城と黒田陣屋跡を訪ねる
第4回	〃 6月18日(土)	九州の関ヶ原「豊後国東半島・別府」を訪ねる
第5回	〃 9月17日(土)	九州の関ヶ原「肥後隈本城・宇土城・佐敷城」を訪ねる
旅行代金	第1回 ￥28,000 第2、3、4、5回 ￥9,000	
募集人員	各回45名(最小催行人員、各回25名)	
企画	NPO法人、福岡城市民の会(略称)同行解説:事務局長 岡部定一郎	
旅行実施	(株)西日本新聞旅行	

お問合せ・お申込み (株)西日本新聞旅行:福岡市中央区天神1-4-1 TEL:092-711-5518 FAX:092-711-1969

編集・発行:
鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会
住所:
〒810-0042
福岡市中央区赤坂1-12-15
読売福岡ビル7階
TEL:092-716-8238
FAX:092-716-8254
HPアドレス:
<http://fukuokajokorokan.npgo.jp/>
E-mail:
fukuokajo@tos.bbiq.jp
デザイン・印刷: S&Mトラスト株式会社

編集後記

新年おめでとうございます。
昨年は官民共働勉強会が開催され、市民の会の方向づけが具体化されつつあるように思います。
今後は基金の設立等も視野にいたした事業に取り組んでいきたいと考えております。
躍進の年にしたいものです。
会員の皆様方、これからもご支援くださいますようお願い申し上げます。
ホームページも充実してまいりました。ぜひ!ご覧ください。

福岡城市民の会

検索

新日本製薬(株)

正会員(団体)

三満宮横金手
上川本田子島
達善三耕利英
比三三夫一貞雄
古雄夫一貞雄
植古高関武関
木城野末
一江正輝孝
陽寛宏博子成
柴稻高中山
田富杉山内
成修義典勝
文二明子郎

(株)やまき
プランナーズジャパン(株)

一般会員(団体)

正会員(個人)

北馬高廣江
原島橋渡上
穀而春信文
一朗子義雄
野江中松富
林上川田永
正和美敏利豊太郎
子子子夫郎
山田平川
浦内野本
啓一
子衛孝守

一般会員(個人)

新規会員名簿

(平成22年12月27日現在)